

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 5 月 18 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		熊本北部流域下水道事業建設費負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二					
	施策	10	水環境の保全			所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志					
	基本事業	28	水質の浄化			所属班	庶務料金班	(内線)	1194					
予算科目	会計	50	款	2	項	1	目	3	事業連番	10225	法令根拠	下水道法	成果優先度評価結果	12
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 57 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本北部流域下水道施設の建設費(浄化センター、ポンプ場、幹線管渠の設計、築造、増・改築、更新等)に要する費用を負担する 昭和57年に熊本県が事業主体となり、旧合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業により、旧町民の衛生的で快適な暮らし、河川の水質保全のために開始。 供用開始より20年近く経過しているため、5年前と比べ下水道施設の老朽化が見受けられる。また、処理区域を拡大(H15年、植木町編入)したため、下水道施設の増・改築に伴う建設負担が主となっている。
【業務の流れ】	熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務等	・熊本北部流域下水道施設の建設費に係る合志市の負担算出の協議、検討、支払い事務等
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
→ ア:建設負担金	イ:処理区域の世帯
	千円
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
・熊本県北部流域下水道区域の世帯	ア:処理区域の下水道接続世帯
	イ:
	世帯
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
・水洗化が可能となる	ア:処理区域の水洗化率
	イ:
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
成果指標については、北部流域区域で行われる建設事業の結果、下水道の処理区域が広がることを前提として設定している。目標値については例年の状況から推計される値を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア	千円	18,545	12,560	17,295	16,517	11,418	16,000	16,000	
	イ	世帯	6,415	6,535	6,720	6,720	6,860	6,990	7,000	
⑤ 対象指標	ア	世帯	6,287	6,407	6,585	6,585	6,720	6,860	6,895	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%	98.4	98.7	97.9	97.9	98.5	98.5	98.5	
	イ									
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	18,500	12,500	17,200	14,300	11,400	16,000	16,000
		その他	千円	45	60	95	2,217	18		
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	18,545	12,560	17,295	16,517	11,418	16,000	16,000	
(A)のうち指定経費	千円									
(A)のうち時間外、特勤	千円									
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	65	60	50	50	50	50	50	
(B)人件費計	千円	258	240	199	199	199	199	199		
トータルコスト(A)+(B)	千円	18,803	12,800	17,494	16,716	11,617	16,199	16,199		

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	熊本北部流域下水道事業建設費負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本事業は合志市のみで事務改善を行う事は困難である。ただし、事業主体の県及び関連自治体に対し、適切な施策の実施を要望していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし。